

Designer's Comment

無数の円に込めた平和への願い

第二次世界大戦中に「砲台」として使用されていた、神奈川県横須賀市の平和中央公園。その小高くなった場所に、平和の象徴として、天に光を放つ「光台」を設計した。高さ1000mを超える光の柱は、遠く離れた場所からも見られ、日常生活の中でも平和の思いを感じることができる。

いつも見ている風景に現れる光の柱は、見ている人の視線を上げ、気持ちを前向きにする。また、災害時にも点灯することで、広域避難地となっている公園に市民を誘導する印となる。横須賀の風景に「平和の軸」が加わり、新しい風景として人々の生活を支えてゆく。

モニュメントの天井や中央の円柱には、無数の円がくり抜かれている。円は、古くから「無限、永遠」という意味を持つ。そこで、永続的な平和の願いを込めて市民に描いていただいたものをデータ化し、天井や円柱にレーザーで一つつくられた。日中は、日光が降り注ぎ、人々が描いた円から漏れる光と目の前のひらけた景色から平和を感じる場となる。また夜間は、人々の平和の願いがこもった小さな光の円を満たされ、高台から見える家々の光の粒と調和

し、世界中の平和の言葉が浮かび上がる。平和を感じ、平和を思い出すモニュメントとして、人々に愛されることを切に願っている。

(高橋 匠/博展)

DATA

所在地:神奈川県横須賀市深田台19 平和中央公園内  
 工事種別:一戸建て 新築  
 用途地域地区:第一種中高層 住宅専用地域  
 構造と規模:S造 平屋建て 施工面積:約77㎡  
 工期:2020年9月14日~2021年2月12日  
 設計協力:意匠照明/ウシオライティング 平井辰可 前  
 田正樹 山田将史 村上 剛 金物設計/落合製作所  
 落合健一 吉田真一 林 圭晃  
 施工:博展 渡邊芳博  
 施工協力:照明器具/ウシオライティング ディスプレイ  
 /光伸ブランニング(板の紋復元)

営業内容

初点灯日:2021年4月19日  
 点灯時間:上部(上空照射)/毎月1日、2月15日、8月6日、15日(4月~9月は日没から午後9時まで、10月~3月は日没から午後8時まで) 下部(文字演出)/毎日(4月~9月は日没から午後9時まで、10月~3月は日没から午後8時まで)  
 運営者:横須賀市

主な仕上げ材料

屋根: SUS パネル  
 外部柱: 鉄骨下地溶融亜鉛メッキ仕上げ  
 外部床: コンクリート素地  
 家具: ベンチ/コンクリート素地  
 照明器具: 高出力白色レーザーサーチライト(LDP-500/ウシオライティング) メタルハライドランプ(CDM-T150W/830/東芝ライテック)



1. 神奈川県・横須賀の平和中央公園内にあるモニュメント「平和の軸」。中央の「光台」から高さ1000mを超える光の柱がそびえる。光の柱は、災害時にも点灯される予定で、広域避難地である公園に誘導するサインとなる  
 2. 昼間は、天井に穿たれた穴を通して、影の中に円が現れる

